

発議第3号

令和4年6月7日

みやき町議会議長 岡 広 明 様

提出者 みやき町議会議員

益田 清

賛成者 みやき町議会議員

大石 安弘
園田 邦彦
武田 光邦
長瀬 宣宏

子どもの医療費助成の拡充を求める意見書について

上記の議案を別紙のとおり、みやき町議会会議規則第14条の規定により提出します。

子どもの医療費助成の拡充を求める意見書

少子化や子どもの貧困が深刻化する中、子どもの医療費は子育て世帯に重い負担になっている。親の経済的状況に左右されることなく、全ての子どもが必要な医療を受けられる環境づくりが急務である。

現在、佐賀県内全ての市町において、中学校卒業まで入院・通院とも医療費助成が行なわれているが、市町に対する佐賀県の医療費助成は未就学児までであることから早急に中学校卒業まで医療費助成の拡充が必要である。

また、医療費助成を現物給付している自治体に対しての、国民健康保険国庫負担金の減額調整措置は不合理であり、早急に見直しが必要である。

よって「子育てし大県“さが”」を標榜する佐賀県において、以下の2点を実行されるよう求める。

記

1. 佐賀県の医療費助成制度の対象年齢を中学校卒業まで拡充すること。
2. 国に対して、現物給付を理由とした国民健康保険国庫負担金の減額調整措置の廃止を求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年6月 日

みやき町議会

佐賀県知事
山口 祥義 様